

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
3 -	交通の利便性を高める	福祉部、まちづくり政策部、土木部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
路線バスの乗り継ぎ環境の整備進捗率	%	47	65	67			88
幹線道路のボトルネック交差点の改良進捗率	%	17	17	22			80
関連事業							
住民主体地域内移送推進事業 バス利用促進事業 南北都市軸への新しい公共交通導入事業 幹線道路整備事業 街路整備事業							
決算額							
	2年度	3年度	4年度	5年度			
事業費(千円)	50,663	266,146					
執行率(%)	70.29	93.71					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「住民主体地域内移送の推進」</p> <p>住民主体地域内移送を本格的に実施している須賀新田地区（松原地区）及び土屋地区での取組を継続的に支援し、事業のさらなる充実に努めたほか、旭南地区においては、事業の本格実施に向けて検討が進められ、試験運行が行われました。</p> <p>「路線バスを利用しやすい環境づくり」</p> <p>路線バスの利用促進に寄与するサイクル&amp;バスライドの整備について、自転車活用推進計画に基づき、交通結節点につながる中沢橋バス停付近へ駐輪場を開設しました。</p> <p>「南北都市軸への新しい公共交通の導入」</p> <p>南北都市軸への新しい公共交通の導入に向けて、速達性を踏まえ早期に国道129号へアクセスできるようルートを選定や、旧道とトランジットセンター（バス等により換える交通結節点）を繋ぐバス路線の新設に係る道路工事について、バス事業者と連携し、道路管理者及び交通管理者等の関係機関と協議を進めました。</p>							

「幹線道路の整備推進」

歩道設置や交差点改良により、交通の円滑化と歩行者の安全を図るため、整備工事を継続して進めました。

施策を推進する上での「課題」

「住民主体地域内移送の推進」

実施地区も含め、今後の事業を展開する上で、運転ボランティアの確保が必要です。

「路線バスを利用しやすい環境づくり」

バス利用促進には、運行の定時制・速達性が望まれますが、抜本的な課題解決には渋滞対策など長期的な対策が必要となります。

「南北都市軸への新しい公共交通の導入」  
ツインシティ大神地区のまちづくりの進捗を踏まえて、南北都市軸に新しい公共交通を導入する必要があります。

「幹線道路の整備推進」

幹線道路、街路の整備は用地買収、物件補償、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要があります。

課題解決を図るための「取組方針」

「住民主体地域内移送の推進」

事業実施の必要性や意義についての周知を図るなど、運転ボランティアの確保に向けた地域支援を行っていくほか、事業検討中の地区を含め、地域の声を聴きながら、実施環境の充実に努めていきます。

「路線バスを利用しやすい環境づくり」

バス利用促進に向けた短期的な取組として、バス停の待合環境やサイクル&バスライドの整備に関して、バス事業者と連携して取り組みます。

「南北都市軸への新しい公共交通の導入」  
南北都市軸への新しい公共交通の導入に向けて、バス事業者や道路管理者及び交通管理者等の関係機関と具体的な協議を進めます。

「幹線道路の整備推進」

「道路中期ビジョン」に基づき、引き続き幹線道路や街路整備の推進に取り組みます。